



# 例会報告 Rotary



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町 3-33-3 TEL 34-3988  
大垣共立銀行高山支店 4F
- 会長 垣内 秀文
- 幹事 大村 貴之
- 会報委員長 中島 一成

## イマジン クラブアッセンブリー ロータリー

### <会長の時間>

本日が当例会場での今年度最後の例会になりますが、退任挨拶は来週の最終例会でさせて頂くとして、就任挨拶時の前置きで私のロータリー入会の経緯をお話しすると言って時間が無く、機会が有ればと思いましたが。



今から18年位前のある年、予てより親しくさせて頂いていた、敢えてイニシャルで言わせてもらいますが、既に当会は退会されました大先輩のWさん(建築設計士)から「今晚空いとるか...一杯やらんか」とお誘いを受けました。あいにくのことに予定も有りませんでしたので、甘んじて?お誘いを受けることになりました。居酒屋さんで向かい合わせに座り、W・Tさん開口一番「君はいくつになった?」と私「42歳です」と答えると「ロータリークラブにはまだ早いな」と言われ少しホッとことを今でも覚えています。

最近我がクラブでは30代で入会された会員も多い中、恐らく軽薄で浮ついて見えたに違いありません。ただロータリーの説明を散々レクチャーされたような気がしますが、その時は失礼ですが真剣に聞いてなかった事実、絶対に入らないと思っていました。ただ帰り際に「もう3年後に改めて誘うから、充分に自分磨きをして待って下さい」と言われたような、微かな記憶が有ります。しかし、その時のお言葉は当然のように忘れ、また軽薄で浮ついた日々を過ごしていました。

ところが、私の人生の分かれ目は突然にやってきました。きっちり3年後「私が入っている高山西ロータリークラブで新会員を探している。簡単な審査があるけど、君ならば大丈夫だろう。私が推薦人になってあげよう」更に「一業種から一人という決まりがあるけど、君の職業は大丈夫だから」と訳の分からない事を言っている。一業種から一人だけ? そのクラブには同業者は何人も入れないのか?...続けて「力のある友だちがたくさん出来るぞ」とも言われました。

自分自身もマナー化した、消化不良生活から脱けられるかもしれないかな?とも思いましたし、またWさんは「絶対、入って損はないよ」と「グイグイ攻めてくるなあ」と思いました。しかし決断できず、一旦その場ではお断りしました...また帰り際にあの方は「誘ってもらってうちの花なんやぞ」と捨て台詞!何か妙に恐怖を感じたと共に、もしかしたら、これは楽しいことの始まりなのかな?と思ったような、思わなかったような、結局翌日早速こちらから連絡させて頂きました!

その後、色々な事を事細かく、解りやすくレクチャーして頂きました。例会とは週一回一時間、お昼に食事をとりながら仲間と歓談する。世の中の有識者を呼んで、様々な卓話を聞くこともある「誰だってお昼は食べるやろ?それを皆と一緒に食べるだけのことやぞ、あんたのいつもの昼めしより豪華やけどな」...これはきっと会費が高いことを暗示していることを察知しました。

先ほどもお話した『一業一人制』については勿論のこと、Wさん曰く「会員としての入会資格は、社長や専務のような会社を代表する立場の人でなければ入れんやぞ、大会社の偉い人もたくさんいる。めったに知り合えない知人がたくさん出来るはずや」と...そし

て「誰もが入れるクラブではない。選ばれた人たちだけが入れんやぞ」と高級感、ブランド感も強調されました。更に「でも、一度入ったら簡単には辞められない。辞められるのは、本人が死んだときか会社が倒産したときだけ」「ロータリークラブは大人の会、あまり若い人はいない、君が45歳を超えたから誘っている、大人は自分で決めたことは簡単に覆してはならない。簡単に辞める子供みたいなヤツやとレッテルを貼られると、後の仕事に差し障りが出るぞ」と恐ろしいことも言われました。

「ロータリーに入ったら、会員が果たすべき義務は大きく3つや、例会に出席すること、会費を払うこと、ロータリーの友を読むこと。これだけを守れば、君も立派な『ロータリアン』になれる」と「ロータリークラブの活動は、地域社会への奉仕活動が中心で、色々な事が経験できるから、大人としてクラブに参加することは意味あることや、仕事ができる人は、慈善活動をすることで社会に貢献しなければいけない、君が皮剥むけるチャンスだ」これは、単純にいい話だと思いましたが...Wさんが人を誘うときの殺し文句に違いなく感じました。

そこまで言われると、カバンから「入会申込書」を出し、ここにありますサインをしろと...言われるままにサインをしました。Wさん満面の笑顔で恐ろしいことをまた言い出した。「よく決断してくれた...実は、入会するには選挙がある、しかも会員全員の賛成が必要やぞ、誰か一人の反対が出ても入会は承認されんぞな」と私は心で「おいおい...聞いてないよ」といいました。「ロータリーに入ったら、誰に何を言われても答えはコレしかない」「『ハイ!』か『イエス!』か『喜んで!』だけ」となんか面白いことを言われたあと「今日のことは理事会に報告する。その後、理事会の決定を経たあとに、会員による選挙になる。選挙には一週間程かかる。その期間内に反対が出なければ入会が認められる」最後に私の肩をポンと叩いて、「まあ大丈夫やぞ、選挙が終わったら連絡するから.....」と言われて別れましたが、1週間以上たっても連絡がなかったのでヤキモキしましたが、「すまん!すまん!ちょっと忙しかったもんで」と、ここでも「おいおい人の気も知らんで」と口に出しては言いませんでした。

結果は合格、どんな試験や選挙でも合格と聞けば、やっぱり嬉しいものです、そもそもですが、ノーマークの私が反対される理由が有る訳が無いと、冷静に悟ったことを覚えています。

「名刺を箱で持ってきたさい、10月の第一金曜日の12時30分から例会が始まるまで、30分前に着くように一緒に行こう」と優しい声掛け、心強かったです、当日W先輩と仲良く自転車で会場へと向かいました。「例会中に自己紹介の挨拶があるから準備しておくように。その挨拶の中には、『伝統と格式のあるクラブに入れていただいて感謝している』という言葉」ともレクチャーされました。当時、我がクラブの会員数は50人を超える大所帯で活気に溢れており、かなり肩の荷が重くなったような気がしました。そして、ロータリークラブに入るという選択が、正直間違っていたような気もしていました。

こうして、私の人生の1/4を占めることになるロータリーライフが始まりました。例会場は、今と同じ大垣共立さんで1階では青櫓、3階で赤櫓をかけた先輩に出迎えて頂きました。

# 例会報告

最初に、当時会長であった阪下さん、数年前お亡くなりになりましたが幹事の村瀬さんとの面会がありました。阪下会長は、「ようこそ」と言って、私に握手を求めてきました。「7月から会長になりました一年間よろしく」と...えっ、7月から？ しかも一年間だけ？ここで知ったのは、ロータリークラブの年度は7月1日から翌年の6月30日までの一年間であること。.....アメリカナイズの年度だ！カッコいい！役職の任期は全て一年きりで、会長といえども例外ではないということ。.....民主的だ！さすがアメリカン！ロータリー！...クラブで一番偉いのは会長であり、その番頭役のナンバー2を「幹事」と呼ぶことを学習しました。そして例会が始まりました。席は自由だということだったが、新会員の紹介があるからといって上座の席に通されました。

そのときW先輩が小声で一言「新人は、最初だけは上座に座れるけど、次回からはもう少し下の方に座れよ、新人のくせに生意気だ、と言う人もいるからね」おや、案外...和風の序列意識を持つ先輩もいるのだなと思いました。そして時間になり、おもむろに赤襷が立ち上がりて言いました。

「会長、点鐘をお願いします」阪下会長は演台に立ち、目の前にある洋風の釣鐘のような形の鐘を木槌で優しく一回叩きました。チーン！いやに澄んだ音...その瞬間、会場の皆が一斉に立ち上がり...何だ？何が起きた？私も立つの？「只今より高山西ロータリークラブ〇〇回の例会を始めます」と会長は言い放たれました。そして赤襷は「本日のロータリーソングは『奉仕の理想』です！」と...私は知らない、当然唱えない。

会長は、更に「『四つのテスト』唱和！」と言う。全く訳が分からなかったです。それが終わったとき、皆は一斉に拍手をして座りました、心を落ち着かせるまでに少し時間がかかった覚えが有ります...と同時に「この会は大丈夫か？チーンと鐘を鳴らして、拍手して皆で一斉に立ち上がり、お題目を唱えて、又拍手して、まるで危ない宗教団体か「大人の幼稚園」じゃないか！」

そうこうしているうちにも会のスケジュールは進んでいきます。最初に、新会員を紹介すると幹事が発言されました。新会員は私を含めて2人でそれは心強かったです。そして私のスピーチ、事前にレクチャーされたように「伝統と格式のあるクラブに入れていただいて感謝している.....」というフレーズを織り込み数分で切り上げました。かなり緊張しましたが失敗はしなかったと思いましたが、会場の皆を見回しましたが、あまり関心がなかったようでした。

その後「会長の時間」流石に当時の阪下会長は、落ち着いた話振りで、大変になるお話を聞かせて頂きました...とは言っても緊張であまり耳に入ってこなかったような気がしますが...。その後は幹事の進行で、幹事報告、理事会報告、出席報告に続きほっこりさせるコメントで拍手、又拍手のニコニコボックス報告、最後にもう一度会長が鐘を撞いて会はお開き...これからはこれが毎週続くのだとは思いましたが、まさか15年後私が会長として今ここで、このような話をしているとは...想像すらしたことは有りませんでした。

今までに仰せつかった委員長はインターアクト委員長を皮切りに、親睦委員長、会員増強委員長、SAA、職業奉仕委員長で様々な経験をさせて頂いたのち、副幹事、幹事、副会長、エレクトと息つく間が無い5年間でしたが、会長就任までの間、皆さんに様々なご助言を賜り、何とかやっていくことが出来ました。

会長の大事な仕事とは先ず『会長の時間』に命を懸ける事と、PETSで強く教えられました。それが実行出来たかは、皆さんにきちんと伝えられたかは、別としまして、毎週私の拙いお話を我慢して聞いて下さって誠にありがとうございました。以上で2022-23年度の最後の『会長の時間』を終わります。来週の最終例会では退任あいさつをさせていただきます。

## <幹事報告>

### ◎ガバナーより

- ・クラブ研修リーダーセミナー開催のお知らせ  
日時 7月29日(土) 点鐘13:30 終了16:00  
場所 岐阜グランドホテル  
出席要請 クラブ研修リーダー

### ◎日台ロータリー親善会議 総裁より

- ・第8回日台ロータリー親善会議台北大会のご案内  
日時 10月20日(金) 会議・親善晩餐会16:00~  
場所 台北萬豪酒店(MARRIOTT TAIPEI)  
登録料 20,000円 登録締め切り 8月10日(木)

### ◎高山市市民憲章推進協議会より

- ・高山市市民憲章推進協議会総会資料  
日時 6月18日(日)13:10~ 会場 国府文化ホール

### ◎高山市青少年育成市民会議より

- ・令和5年度「高山市少年の主張コンクール」開催について

## <例会変更>

美濃加茂 ... 7月14日(金)は、夜間例会のため18:30~に変更

## <受贈誌>

高山RC(会報)、米山記念奨学会(ハイライトよねやま vol1279)

## <出席報告>

出席	Make-Up	出席者数	会員数	出席率
24名	-	24名	36名	68. 57%



## <新入会員紹介>

大垣共立銀行  
高山支店長

佐藤 貴史

## <本日のプログラム>

### クラブアッセンブリー

#### S. A. A 米澤 久二

例会等が秩序正しく楽しい雰囲気運営できるように努めて参りました。皆様のご協力で、つつがなく例会の運営ができたと思います。

今期のS. A. Aのスローガンは「S. A. Aは早めに来て遅めに帰る」でしたが、S. A. Aの皆様のご奮闘でおおむねできたと思います。新しい試みとしてネームバッジを、アイウエオ順に配置するようにしました。お帰りの際はバッジを所定の位置に返して退室ください、とお願ひしたところ、多くの皆様にご協力いただきました。一年間ご協力ありがとうございました。



# 例会報告



## 会報・広報・雑誌委員長

中島 一成

今年度の会報・雑誌・広報委員長は中島、副委員長は鴻野幸泰さんです。これまでの活動内容としては、ホームページでは例会の都度会報を発行し、当クラブの活動を地域の方に閲覧いただける環境を作っています。また Facebook では月 1 回程度情報を更新

し、第 2770 地区細瀬ガバナーの卓話や松倉中学校での出前講座など、特色のある活動を紹介しています。雑誌では毎月第一例会で「ロータリーの友」の中の注目すべき記事を紹介し、クラブ内の情報共有化と活性化を図っています。さらに前年度に作成した、観光カード名刺は東京紀尾井町 RC への訪問時などに渡すことで、高山の名所を紹介すると共に、当クラブの認知度向上につなげています。

5 月 12 日に担当例会として、岐阜新聞社、岐阜放送 ひだ高山総局長兼編集部長の森嶋哲也様を卓話講師にお迎えしました。森嶋総局長は岐阜市のご出身で、2020 年 7 月から編集部長として高山で勤務され、21 年 1 月から飛騨高山総局長を務められています。森嶋様にはメディア関係者として高山で勤務する中で感じられたことについて様々な興味深いお話をさせていただきました。

## 出席・プログラム委員長 委員長 堺 和信

基本方針は「例会出席率の向上を目指し、例会出席できない会員にはメールやオンライン出席を推奨する。理事会や各委員会と連携し例会が楽しく有意義な場となるように円滑な例会運営を目指す」です。

本年度は、本日までで 36 例会開催していますが、親睦例会等を除いた 32 例会の平均出席率は 73.48% でした。最高出席率例会は、1 月 20 日のクラブアッセンブリーで 91.67% でした。何とか、年間平均出席率を 80% 以上としたかったのですが、5 月、6 月の出席率が悪く届きませんでした。しかしながら、本年度から始まったオンライン出席によって、出張中の会員や休会中の会員には有効に活用していただき、出席率の向上につながりました。

12 月 23 日の担当例会では、年末ということで講師が見つからず会員スピーチということで、私が「協同組合高山卸商業センターでの 1 2 年間の理事長としての苦労話」をさせていただきました。

プログラムにつきましては、例会内容に多少変更ありましたが、前年度までのような新型コロナウイルスの影響はなく、37 例会開催されました。

次年度以降も、オンライン出席を活用していただき、100% 出席をめざし出席率の向上に努めていただきたいと思います。1 年間、有難うございました。



## 会員増強部門長 遠藤 隆浩

今回は上期にミーティングを行い、下期に松田増強委員長を中心に入会候補者のリストを作成していただきました。

入会状況としては松田さんの働きにより今期 2 名の方に入会していただきました。

ライオンズも含め他クラブも熱心に勧誘をしているようです。西クラブもより一層の勧誘活動が必要かと思われます。



## 職業分類・選考委員会委員長

阪下 六代

本年度は、水梨弘基、大屋尚史、佐藤貴史、以上 3 氏の入会推せんを取扱い、会員 1 名の純増を果しました。

## ロータリー情報委員長 門前 庄次郎

こんにちは。ロータリー情報委員会です。副委員長に遠藤隆浩さんです。

基本方針は『新会員にロータリーを理解して頂く為のオリエンテーションを開催し、また会員向けに情報提供と意見交換の場を設け、RC の理念を共有しロータリアンとしての意識高揚に努める。』といたしました。

新会員のオリエンテーション関しましては、上期に富岡さんと水梨さんに入会頂いておりますので、会長・幹事にも参加頂いて、行ないました。また急遽転任されました松田さん富岡さんの後任として赴任されました大屋さん、佐藤さんにも入会頂きましたが、年度末も近く来てきておりますので、次年度の遠藤委員長にお願いしたいと思います。

またこの委員会は『クラブ研修リーダー』もかねて居りますので、担当例会はその趣旨にそって行いました。1 回目は 8 月 19 日に当クラブの課題等について考えると言うことで、グループに分かれて意見交換をして頂きました。すぐに課題解決と言うところでは有りませんが、会員同士の思いを共有する事は大切だと感じました。

また 2 回目は 2 月 10 日に地区研修委員会委員長の岩田正美さんに来て頂き、地区の考え方、クラブ内研修の大切さ等について、お話し頂きました。

ロータリークラブの魅力、クラブ内の課題などについて考えて行くことは、大切に思います。これからも遠藤委員長を中心にそう言う場を作って頂けると有り難く思います。一年間有り難うございました。

## 奉仕プロジェクト部門長 伊藤 松寿

当部門所属の 6 委員会では、年度当初、委員長を中心に事業計画を立案し、実施時期の前後は、あったにせよ順次計画を遂行した。どの委員会も完遂できたことは、委員長並びに委員各位の努力であり賞賛されるべきものである。



## 社会奉仕委員長 杉山 和宏

社会奉仕委員長の杉山です。上半期に予定しておりましたソフトミニバレーボール大会がコロナ禍により延期となり、2 月 26 日に行われました。検討の結果、長年継続してきましたスポンサーは今回が最後となりました。これまでご尽力いただきました会員の皆様、誠にありがとうございました。大変お疲れ様でした。

下半期には 5 月 26 日に担当例会を行いました。次年度の財団補助金事業である二所ノ関親方講演会、高山市相撲場の土俵築の概要説明をさせていただき、また下屋会長エレクトに相撲の豆知識をお話いただきました。今年度の社会奉仕委員長として、大きな事業はありませんでしたが、次年度最初に担当します財団補助金事業も、社会奉仕活動であり地域社会に貢献するものでありますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。1 年間ありがとうございました。

# 例会報告

国際奉仕委員長 長瀬 達三

代理 副委員長 田近 毅

委員長長瀬さんが欠席ですので、預かった原稿を代読します。

本年度の当委員会の基本方針は、「海外のRCがコロナ禍を経てどのように活動しているのかを調査すると共に、これまでの当クラブの活動内容を振り返る」でした。本年度の活動内容については、



1. 海外のRC (知人やその関係者がいるかどうかというレベルでピックアップ) に、現在でもマスクの着用や手指消毒、オンライン開催等を行っているかをメールで問い合わせしてみようと思いい、英語を扱えない私は3クラブほど長男経由でメールしてみました。なんと1軒も回答を得られませんでした。
2. 次に、当クラブでは「飛騨高山国際協会」と「高山デンバー友好協会」それぞれに寄付 (ではなくて会費の支払い) を続けてきていますが、この2つの団体の実体や成り立ち、当クラブとの関りもよく知らなかったため、これまでの当クラブとの関りを振り返りたいと思い、事務局のある高山市の海外戦略課を訪問して少しだけレクチャーを受けて参りました。  
もしかしたらよく分かっていないのは私だけだったのかもしれませんが、きっと一部の会員の皆さんも深くはご存知ないだろうと思い、去る3月10日の担当例会の際に、「高山市飛騨高山プロモーション戦略部海外戦略課長」の「永田友和」さんをお招きし、「高山市の国際化への取組について」と題して講演していただきました。飛騨高山国際協会およびデンバー友好協会の活動内容や目的について理解を深めると同時に、今後の当クラブとの関りについても前向きに考えられる良い機会になったのではないのでしょうか。

ロータリー財団委員長 齋藤 章

今年度、ロータリー財団への寄付を150ドルお願いする。地区補助金を活用し、活動を行う。との基本方針のもと、副委員長 折茂さんと共同で担当しました。実施できたのは、12月9日の担当例会を委員長の卓話として発表しました。3月19日の第20回の奉宮祭に3ロータリー合同のポリオプラス募金活動を行い、結果的に全会員の寄付の150ドルを達成しました。



残念なことに、本年度は地区補助金事業はできませんでした。今年度、目標の大部分は行えましたが、次年度は地区補助金活動が予定されています。150ドルの寄付は、予算的にはすこし厳しそうである。ポールハリスフェロー関係では多くの方に声をおかけしましたが、ベネファクターに垣内会長、塚本さんに5回目のフェローになって頂きました。



米山奨学委員長 内田 幸洋

10月7日地区委員の熊崎元康氏にご来場いただき卓話を聞きました。本年度、米山奨学金に拠出いただいたのは、協力者から功労者への2名でした。いまだに協力金ゼロ会員が10名いますので、次年度以降に引継ぎます

## <ニコニコボックス>

●垣内 秀文さん、大村 貴之さん

佐藤貴史さんのご入会を心より歓迎いたします。本日はクラブアッセンブリーです。部門長、委員長の皆様、1年間の報告をよろしくお願ひします。

●佐藤 貴史さん

本日より入会させていただきました佐藤貴史と申します。大垣共立銀行高山支店に勤務しております。今後共ご指導の程よろしくお願ひ致します。

●下屋 勝比古さん

先週、全日本社会人ハンドボール大会で娘がオムロンチームで先発出場しました。僅差で3位でしたが、ブルズとの対戦が楽しみです。垣内会長・大村幹事お疲れ様でした。来月7日、全員出席お願ひします。

●田近 毅さん、平 義孝さん、内田 幸洋さん、齋藤 章さん、

古橋 直彦さん、米澤 久二さん、田中 武さん、門前 庄次郎さん、

堀 和信さん、鴻野 幸泰さん、杉山 和宏さん

いよいよ年度替わりを迎えようとしています。垣内会長、大村幹事、一年間ご苦勞様でした。そしてありがとうございます。ニコニコ委員会としまして何分にもコロナの影響もあり思うように行動が出来ませんでしたが、その分皆様には大変ご協力頂きましてありがとうございました。次年度は堀委員長の新体制のもと大きく羽ばたくこと期待しています。また次期下屋会長、大変張り切りっています。年またぎにはなりますが、兎から辰 (辰年は草木の形が整った状態を表しているそうです) に凄じ事が起こる様な気がします。皆で力を合わせて頑張りましょう。

令和5年  
**7/30日**  
13:30~15:00  
(開場12:30)

会場  
飛騨世界生活  
文化センター  
「芸術堂」

**我が相撲道に  
一片の悔いなし**

元・第7代横綱勲助の里  
1966年生まれ、岩手県出身。2002年、中学卒業後に角界入りし、04年に豊洲の邊まで昇進。12年に大関に昇進し、17年に初優勝。第72代横綱へ昇進。19年初場所後に現役引退。21年6月に賞状授与として独立。同年末に年寄・二所ノ関を襲名し、即座にも「二所ノ関親方」となる。22年6月に茨城県民会館で部屋を創設。現在は二所ノ関部屋の親方として、後進の指導を行いながら、TV番組出演、講演会を行い、相撲文化普及の為に尽力している。

●高山ロータリークラブ財団補助金事業  
日本文化の伝承「相撲に触れ合う一日」**300名**  
※申込詳細  
**稀勢の里 二所ノ関親方 講演会**  
横綱まで上り詰め、親方となった元・稀勢の里関に、相撲人生を振り返り「我が相撲道に一片の悔いなし」と題してご講演頂きます。

参加希望の方は、往復はききにてお申込みください。おひとり様1通のみ申込可能。1週につき2名様まで入場いただけます。高、小学生の方は保護者同伴にてご参加お願いいたします。

【往復】 〒506-0026 高山市花壇町3-33-3 大垣共立銀行高山支店3階  
高山ロータリークラブ 講演会申込係  
裏面に、参加希望者の氏名・年齢・連絡先(TELまたはメール)・人数、親方への質問を記入ください。

【返信】 参加希望の方の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。裏面は、抽選結果を印刷し返信しますので、何も書かないでください。

【申込締切】 6月30日 当日消印有効(7月中旬 返送予定)

抽選結果を印刷し、返信しますので、何も書かないでください。

参加希望者の氏名、住所への質問を記入してください。

参加希望者の氏名、住所、氏名を記入してください。

**入場無料**

講演会チラシが市内小学校全生徒へ配布されました。  
財団補助金事業準備もいよいよ佳境に入っています。